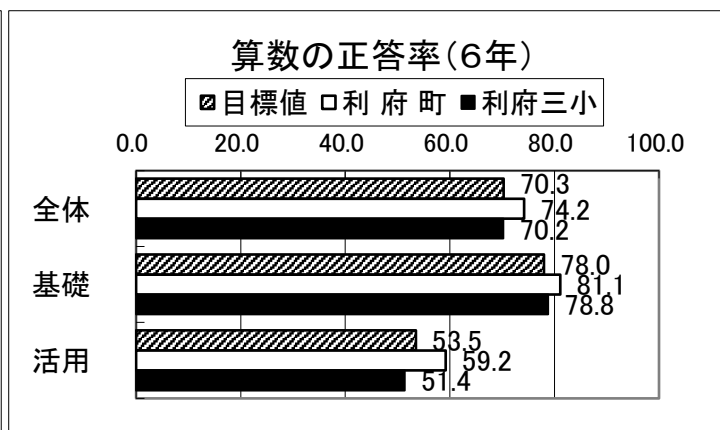
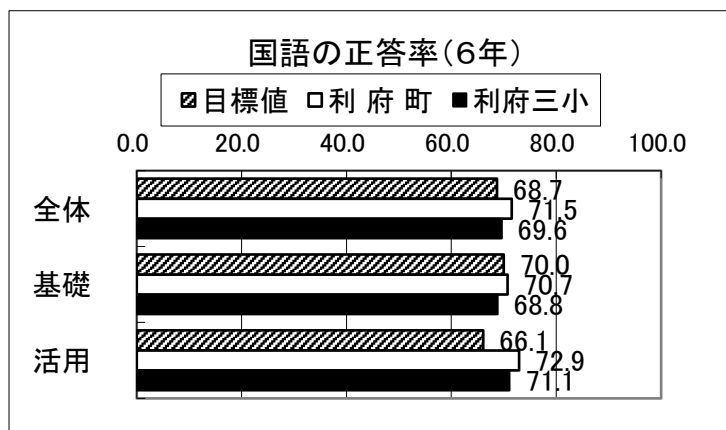


令和3年度 標準学力調査の結果（6学年）

12月に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

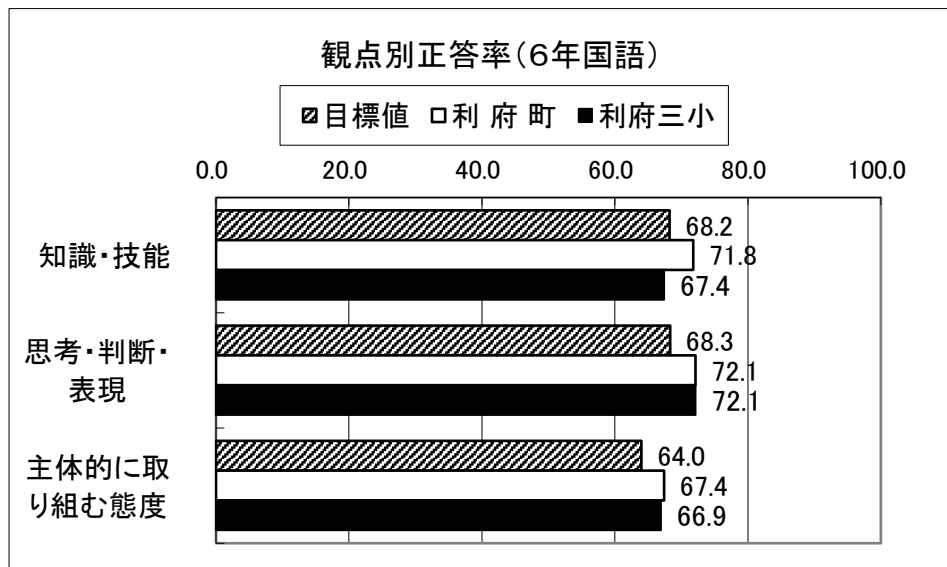
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で0.9ポイント、活用する力で5.0ポイント目標値を上回りました。基礎力では、1.2ポイント目標値を下回り、課題が見られました。
- ・ 算数については、基礎力で、0.8ポイント目標値を上回りました。全体で0.1ポイント、活用する力では2.1ポイント目標値を下回り、ほぼ目標値と同等の正答率となりました。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

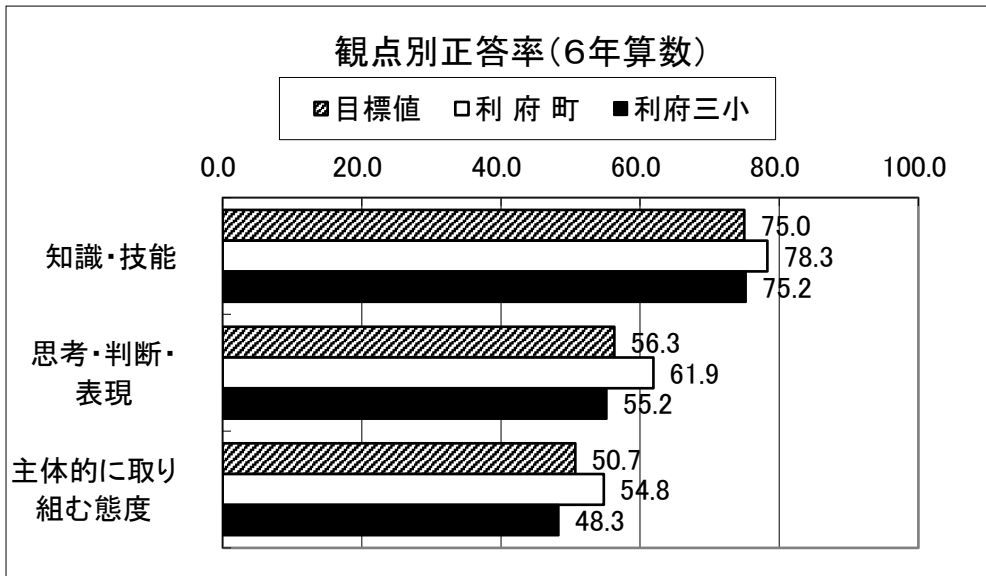


- ◎条件にあった作文を書くことができていました。
- ◎説明文において、文章の内容を的確に読み取る問題がよくできていました。
- 漢字を正しく読んだり、書いたりする問題に課題が見られました。
- 放送で聞いた内容を正しく捉える問題で間違いが多く見られました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



◎文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表す問題や文字の値を求める問題がよく解けていました。

●分数のかけ算・わり算の計算問題につまずきが見られました。

●拡大図と縮図の問題において、縮尺を求める問題に誤答が見られました。

●比を使って、全体の量から他方の量を求める問題に誤答が見られました。

今後の取組

国語・6年間で学習する漢字の再確認をプリントやテストを用いて、総復習します。

・普段の生活から、話を一度で聞くことを意識させたり、聞き取って書かせたりする場面を設けていきます。

算数・小学校段階で学習する四則演算を確認するために、様々な問題に取り組ませます。

・少人数指導を継続し授業中の総復習の時間を活用して、個々の苦手分野を少しでも減らし、中学校への橋渡しをしていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

①教科正答率(%)

すべて正解の場合は100.0%になります。お子さんの数値と目標値(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の「児童のみなさんへ」の文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

②内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別に正答率を表しています。評価は目標値との比較により3段階で表されています。特に▲だった内容は十分に身につけていないことを表しています。

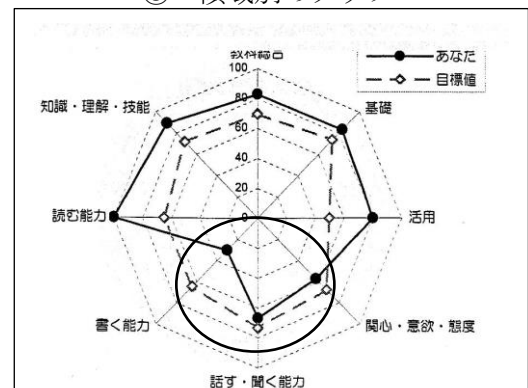
表の下にはお子さんへのアドバイスがあります。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率(%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
▲の評価であるひき算の学習が確実に身につけていないことがわかります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。